

令和元年度第3回学校運営協議会の実施報告書

学校名

岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校 校長 土井 充行

所在地 岐阜市芥見南山 3-11-1 電話 058-243-0710

1 協議会の名称 岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校運営協議会

2 協議会の構成委員

清水達郎	芥見南自治会連合会 会長
伊藤知子	株式会社十八楼 女将
五十川勝也	芥見東身体障害者福祉協会 会長
大倉美江	すまいる工房株式会社 代表取締役
佐々木ひなゑ	芥見東自治会連合会 会計
林 武	岐阜県老人福祉施設協議会 副会長
土屋明之	岐阜県教育文化財団 障がい者芸術文化支援センター長
高橋貴美子	岐阜清流高等特別支援学校 PTA 会長

学 校	土井充行	校長
	下野誠司	教頭
	下野 修	事務長
	廣瀬雅行	部主事
	横田 真	教務主任
	北川百合	進路指導部長
	三橋正康	生徒指導部長
	吉田 徹	保健安全部長
	齋藤 律	研修部長
	今枝みどり	支援センター部長
	磯村明日香	地域交流部長

3 協議会の目的 学校運営に関する目標やビジョンを地域住民や保護者、有識者と共有し、幅広く意見を求めるとともに互いに連携・協働し、教育活動の活性化及び地域に開かれた学校づくりを推進しながら、地域や社会に貢献できる担い手となる人材を育成する。

4 協議会の開催 令和2年2月27日（木）10:00～12:00
岐阜清流高等特別支援学校 会議室

5 協議会の概要

- (1) 校長挨拶
- (2) 議題

①令和元年度 3年生の進路状況について

○就労の内訳を説明

3年生41名中、正社員での雇用生徒は全体の4割にのぼる。

また、全国平均の20%より多い割合になっている。

福祉就労の生徒についても、最終的には、一般就労を目指すことになっている。

今後は、卒業後の追指導が本校の課題になってくる。

【業種】

清掃：3名

福祉：7名

製造（機械・金属等）8名

製造（紙業）2名

製造（食品）3名

製造（農業）1名

流通：2名

事務：7名

福祉就労7名

意見1：就職に特化した学校として周囲から多くの期待があったと思うが。

回答→ 今回の就労先は生徒の適性に合った進路先であり、今後、どのように生きていくことが一番に大事であることを念頭においた支援を行ってきた。

②学校経営アンケートについて

○11月に実施し、134名中93名の保護者から回答を得た。好意的な意見も多い中、課題となる回答もあり、今後検討し、次年度に生かしていく。

意見2：生徒達が卒業後に学校に相談できる状況になっているか？

回答→ 今後の課題である。

③自己評価について

○分掌ごとに学校経営アンケートの結果分析を基に本年度の自己評価の成果・課題を説明。

- ・教務部 : ・三者懇談において保護者との連携を深めるため、懇談日数、時間を増やした。
・ホームページにおいて教育活動の内容や情報を定期的に発信することに努める。
- ・進路指導部 : ・事業所や関係機関を対象とした学校見学会、就労支援ネットワーク会議を実施した。
・関係機関と更なる連携を図り、卒業生のフォローアップを行う。
- ・生徒指導部 : ・学年主任を中心に学年目標を明確にし、より一貫性のある指導を行うことができた。
・生徒指導に係る方針や体制の共有、研修等をできる限り早期に行い、生徒の問題行動、心の悩み、不安等に対する適切な対応ができるようにする。

- ・保健安全部：・性教育、食育、防災は年間計画を立て、専門家と連携し、一貫して取り組むことができた。
- ・行政、地域、学校が連携した防災体制の確立と訓練を実施する。
- ・研修部：・コア・スクール研修会や授業参観週間等、実践的な研修が実施できた。
- ・コア・ティーチャーや進路指導部と連携し、授業実践力と進路指導力を高める研修を行う。
- ・支援センター部：・高等学校特別支援教育コーディネーター研修会では、授業参観や発達障がいに関する研修を通して、当校や障がいへの理解を促すことができた。
- ・地域交流部：・地域交流を通して、生徒に、地域の中での一員としての役割や、地域の方々に支えていただいていることを実感させることができた。
- ・より保護者が主体的に、意欲的に動けるような PTA 活動を支援していく。

④令和元年度学校経営目標に対する取組状況について

- 企業内実習や現場実習等の充実・強化、専門コースで学んだ力を試す資格取得、部活動実績を説明

⑤令和2年度学校経営目標の重点について

- 令和2年度学校経営における重点的な取組
 - ・課題に対し、3年間の系統だった学習の実施
 - 【情報モラル教育・消費者教育、性教育】
 - ・追指導體制の確立
 - ・企業への働きかけ
 - ・小中学校との連携強化
 - ・教員の進路指導能力の向上
- 組織体制の見直し
 - ・分掌再編
- 教育課程の見直し
 - ・職業、家庭科の時数増（令和2年度入学生から）

3 考察と課題

- 令和元年度学校経営目標に対する取組状況について

意見3：地域行事での販売等に協力してもらい、地域での触れ合いに意味があると感じた。また、学校は地域にとって大きな存在になっている。

意見4：卒業生には、今後、是非学校に招いて在校生への啓発を行ってほしい。

回答→ 「先輩と語る会」を実施していく。

意見5：就労支援ネットワーク会議の参加者が大人数で大変驚いた。このような行事を実施することで、より当校の情報を発信してほしい。

回答→ 継続していく。

意見6：卒業生を受け入れる企業側としては、働きやすい環境を整えることが大

事だと考える。

回答→ 是非、お願いしたい。

意見7：卒業後の人間関係の構築が重要。いろいろな社会との繋がりをもつことが大事になってくる。

4 会議のまとめ

- ・令和元年度3年生の進路状況について確認していただいた。
- ・学校経営アンケートの分析結果について意見をいただいた。
- ・自己評価について確認し、改善等の意見をいただいた。
- ・令和元年度学校経営目標に対する取り組み状況について確認していただいた。
- ・令和2年度学校経営目標の重点について確認し、承認していただいた。